

令和3年7月27日（火）
北海道環境生活部環境局自然環境課

北海道アザラシ管理計画（第2期）について

計画の概要

1 経緯

ゴマフアザラシは、冬場にサハリン沿岸等から本道沿岸に回遊する「冬期北海道回遊群」と、夏場に道東の尾岱沼等に生息する「夏期北海道回遊群」に分類。

近年、冬期北海道回遊群から分離し夏場も道北地域に滞在する「周年定着個体」の増加に伴い、漁業被害額が深刻化。

平成27年3月、道では、鳥獣保護管理法に基づく第2種特定鳥獣管理計画「北海道アザラシ管理計画」を策定。現在、第2期計画に基づき対策を実施中。

2 目的

- (1) アザラシ類による漁業被害の軽減
- (2) 人とアザラシ類との共存

3 課題

- (1) 回遊域全体での個体数推計
ロシアとの共同研究の停滞、調査地域・時期の限定等により把握が困難な状況
- (2) 漁業被害の実態把握
食害痕が残りづらい刺し網漁業の被害や、アザラシによる入網率低下の影響等は把握が困難。※サケ定置網漁業では「トッカリ食い」の食害サケで被害状況を把握可能
- (3) アザラシ捕獲従事者の確保 など

4 第2期計画期間・計画区域

平成29年（2017年）4月1日から令和4年（2022年）3月31日まで・北海道全域

5 鳥獣の種類

ゴマフアザラシ

6 対応方向

- (1) 削減目標 夏期確認個体数（周年定着個体数）を平成27年（2015年）の概ね1/2
- (2) 削減方法 捕獲・追い払い（実施者：漁協、市町村など）
- (3) 絶滅リスク回避 回遊群に著しい減少が確認された場合、原因の検証と捕獲を中止

7 計画の評価・検証

- (1) 学識経験者等による北海道アザラシ管理検討会を毎年度開催、前年度の取組や頭数モニタリング結果などから計画の評価・検証を実施
- (2) アザラシワークショップを開催し関係者と情報共有（漁業被害対策の最新知見など）

現 状 (令和2年度事業実施計画の実施結果及び評価：抜粋)

1 夏期確認個体数（周年定着個体数）

令和2年における道北地域の合計は 551 頭、令和2年度事業実施計画の削減目標以下。

※削減目標：平成27年（2015年）の夏期確認個体数（1,413頭）の2分の1以下

【表1】夏期（8～10月）確認個体数（周年定着個体数） (単位：頭)

調査年	礼文島				声問 ・ 宗谷	抜海	天売島	焼尻島	合計	備考
	トド島		北部	ペンサシ						
	定点カメラ	目視	目視	目視						
H27年(2015年)	530 (6)	—	414	73	161	85	121	29	1,413	基準
H28年(2016年)	154 (5)	18	424	81	219	23	67(2)	47	1,015	
H29年(2017年)	241 (7)	133	352	174	73	145	2(2)	20(2)	1,007	
H30年(2018年)	135 (7)	—	321	205	52	102	28(2)	29(2)	872	
R1年(2019年)	196 (6)	—	289	128	186	116	69(2)	26(2)	1,010	
R2年(2020年)	135 (6)	—	263	0	65	49	21(2)	18(2)	551	

※注1：（ ）は、定点カメラ数 ※注2：H28、H29 トド島目視数は合計数に未算 ※注3：抜海は10月20日までの個体数

2 ゴアファザラシによる漁業被害額

令和元年度は約1億500万円で、平成30年度と比べて約1億2千300万円減少。

【表2】ゴマファザラシによる漁業被害額 (単位：千円)

年度	宗谷	留萌	後志	日高	オホーツク	釧路	根室	被害額計
H25年(2013年)	40,153	98,257	10,264	0	0	8,513	49,407	206,594
H26年(2014年)	27,699	76,474	32,555	0	0	8,703	33,542	178,973
H27年(2015年)	68,567	71,970	31,380	0	148	10,475	47,385	229,925
H28年(2016年)	62,240	34,792	46,091	0	365	7,330	34,825	185,643
H29年(2017年)	97,985	22,732	13,784	0	125	8,288	41,660	184,574
H30年(2018年)	118,932	43,010	5,150	4,680	193	18,886	38,080	228,931
R1年(2019年)	52,333	11,706	5,604	120	84	4,961	30,722	105,530

※北海道水産林務部「海獣類漁業被害実態調査（漁業被害状況調査）」

道では、有識者等による「北海道アザラシ管理検討会」において、現行の北海道アザラシ管理計画（第2期）の検証・評価などを行い、令和4年度からの第3期計画について検討を進める考えであり、引き続き、漁業被害の軽減とアザラシ類との共存に向けた取組を推進